

👉 GAPの取組 (個別認証)

坂 上 農 園

<https://www.sakagami-minitomato.com/index.html>

GLOBALG.A.P.

ミニトマト

<基本情報>

所在地：熊本県玉名市

構成員：ご夫婦、(平坦地) 常時雇用13名 (高冷地) 臨時雇用6名

<農場の概要>

栽培面積：160a (冬春ミニトマト(赤) 85a、冬春ミニトマト(カラー) 15a、夏秋ミニトマト(赤) 60a)

<農場のこだわり>

「安心して食べられるトマトを食卓へ(美味しいミニトマトは当たり前)」

■徹底したハウス管理 ■GLOBALG.A.P.取得 ■従業員との情報共有化の徹底



<GAPの取得のきっかけ>

- 商談会での出会い → ファームアライアンスマネジメント
 - くまもと農業経営塾 → 自社の強みを磨いて競合他社との差別化
 - ①熊本県産ミニトマト ②周年栽培 ③**GLOBALG.A.P.**
- 3本柱で販路拡大**を目指す。



2015年
GLOBALG.A.P.取得【ミニトマト】

<GAP認証取得後の付随効果>

◆販売面

- 大消費地のデパートで、GLOBALG.A.P.コーナー販売
- バイヤー様から栽培履歴を求められても即対応できる
- 特に**トレーサビリティが求められる**大手レストラン、外食流通と商談可能に。

◆経営改善面

- **月1回のミーティングで職場の環境改善**
- **リスクマネジメント能力向上**



<GAP認証取得で苦労したこと>

◆リスク評価

- ・今まで農業をする上でわざわざ考えていなかった。
- ・最初は考えてもなかなか評価出来なかった。
- ・評価後の対応策が分からなかった。

◆危険予測・未然防止策

- ・リスクを見つけるではなく、感じる力が徐々についてきた。

GAPは
経営改善
ツール

<今後の経営展開>

◆地域を守る農業の担い手を増やす。

女性が働きたいと思う農業スタイルや、雇用環境の整備など**楽しい農業スタイルの提案。**

◆法人化による雇用の場の提供

海外研修生ではなく、**日本人の雇用の場を提供**

◆地域農業を守る。

災害時など「**いざという時に役立つ企業**」を目指す。



～ライフスタイルの一部に農業を～

👉 GAPの取組 (個別認証)

玉名の米所 八十八夜

<http://818ya.net/>

GLOBALG.A.P.

米

<基本情報>

所在地：熊本県玉名市 労働力：夫婦、両親、妹

<農場概要>

栽培面積：約7.9ha（水稲3.1ha、大豆2.4ha、麦（大豆裏作）2.4ha）

<経営の理念>

「食で人の体は変わる」



<GAPの取得のきっかけ>

- ・生産履歴の消費者等へのPR 2018年 GLOBALG.A.P.取得
- ・農産物のブランディング (水稲 2.3ha)

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆リスク評価（食品安全、農作業安全）

- ・慣習で行っていた清掃手順や頻度、作業場での飲食禁止、火気厳禁を書面にしたルールを作成
- ・慣行栽培で使用した機械（コンバイン、乾燥機等）を共用しており、交差汚染防止のため清掃

◆労働環境の整備

（ハード面の設置にかかる導入経費）

- ・GAP認証圃場は無肥料・無農薬であるが、慣行栽培圃場で農薬を使用するため保管庫を平成29年9月に新規購入
- ・作業場の蛍光灯をLEDに交換
- ・倉庫の防虫対策として網戸を新規設置



（農薬保管庫）

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆圃場毎に出荷袋を別にして、異物混入等が発生しても**最小限の回収**で済む体制を確立
- ◆手渡し販売ではGGAP認証していることで**お客様から好反応**
- ◆認証前に比べ手渡し販売の際に**生産履歴の説明が容易**



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

株式会社 鷹本農産

GLOBALG.A.P.

ミニトマト

<基本情報>

所在地：熊本県玉名市

構成員：正社員6名、パート22名（全て女性、周年雇用）

栽培面積：ミニトマト、米、麦 61.2ha（うち、ミニトマト3.2ha、ハウス103棟）

※令和3年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール
農産局長賞受賞

【経営理念】

持続可能な農業経営を支えるGLOBALG.A.P.



<GAP認証取得のきっかけ>

○安全安心な農産物を食卓へ提供することはもちろんのこと、働く人が、働きがいのある職場環境を作ることで、経営安定と生産性の向上を図りたいと考えた。



GLOBALG.A.P.認証取得 ⇒ 2015年12月

<GAP認証取得で苦労したこと>

- パート従業員へのGAPの説明（作業効率向上のための体制づくり）
- 各作業のマニュアルづくり



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

○パート従業員を3チーム体制とし、生産現場では各チーム長の判断に基づき作業を行わせ、作業効率の向上に繋がっている。

○アプリ（スケジュール調整サービス）を利用して、1ヶ月間の作業予定を把握し、柔軟な勤務体制を可能にして、働きやすく、能力の発揮できる職場環作りを徹底している。

○3ヶ月毎に全体ミーティング、月毎に全従業員と個人面談を行い、良い意見、要望に対しては積極的に取り入れ、経営改善、作業方法の改善を行っている。



<問合せ先>

TEL 0968-57-9492

<https://www.takamotonousan.com>

<https://www.sakagamiminitomato.com/index.html>

<今後の意向>

○米麦についても、GLOBALG.A.P.認証を取得するよう準備を進めている。

GAPの取組 (個別認証)

こめだ農園

GLOBALG.A.P.

にんじん

<http://www.komedanouen-daikon.com/> <http://www.komedanouen-ninjin.com/>

<基本情報>

所在地：熊本県西原村

労働力：夫婦、両親、正社員3名、外国人技能実習生1名、パート6名

<農場概要>

栽培面積：25ha（にんじん18ha、だいこん7ha）

<経営理念>

「消費者ニーズに応じた野菜づくり、儲かる農業の実現」



<GAPの取得のきっかけ>

取引先との契約条件

2016年 GLOBALG.A.P.取得
(にんじん 18ha)

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆生産履歴等の管理

- ・ほ場管理等の記帳、ほ場地図の作成

◆労務管理

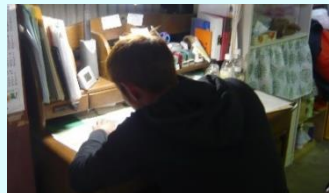
- ・外国人技能実習生が理解できる契約書や作業マニュアルの作成
- ・従業員との意見交換、議事録の作成

◆リスクの把握（食品安全、農作業安全等）

- ・ほ場等の危険箇所の把握及びリスク対応策の考案

【農業者の声】

GAP導入1年目は、農薬や農機具の整理整頓等、労働環境の整備に苦労した。



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

◆取引先との契約を優先的に継続

◆リスク管理の徹底

- ・従業員が作業場やほ場で衛生面に気を配るようになり、**より安全で安心な農産物の提供につながる**

◆整理整頓や生産履歴の記帳でコスト削減

- ・整理整頓により、作業場が整理され、**作業効率がアップ**
- ・農薬や肥料の在庫管理で**無駄な支出減少**
- ・生産履歴等の管理により、**従業員への情報共有を効率化**



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

(株) 下巢畑農産



JGAP

だいこん・かんしょ

<基本情報>

所在地：熊本県阿蘇郡小国町下城2701
 構成員：7名（役員2名、従業員5名）
 栽培面積：夏だいこん 4ha（延べ面積）、かんしょ 3ha

【経営理念】

「こだわりの土づくりで育てた土もの野菜は、阿蘇の高冷地ならではの寒暖の差により、おいしく育つ。土づくりから野菜生産、商品化まで一貫して行う、安全・安心な商品（根菜類、さつまいもの加工品）を提供する。」



<GAP認証取得のきっかけ>

○6次産業化に取り組んだものの、販売先がなく厳しい状況の中、友人からGAPを知らされ、GAPは、**農業におけるISO**であり**重要**だと気付かされた。

⇒ **令和元年9月 JGAP認証取得**

<GAP認証取得で苦労したこと>

○整理整頓や農薬の有効期限の徹底など、**これまでとのギャップ**に、**周囲の理解をなかなか得られず苦慮**。

○120におよぶ審査項目のクリア



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- 生産工程や販売履歴のデータを蓄積・保存することにより、過去の記録から、過去の失敗を繰り返さない他、経営の見える化にも繋がった。
- 圃場管理**が徹底され、**無駄のない投薬、施肥**となり、**労働時間の短縮**や**経費が削減**された。
- 食品企業や卸、外食産業との契約取引により、計画が増加し**経営が安定**した。

「今後の意向」

- ASIAGAP認証**を取得し、**輸出**を含めた販路拡大。
- 青果物と加工品のセット販売を目指す。HACCPの取組も強化して行う。

<問合せ先>

TEL：0967-32-8117
<https://gezubatake.com/>



👉 GAPの取組 (個別認証)

立石農産

<http://www.gunchiku.co.jp/publics/index/21/> (立石グループ)

JGAP

ミニトマト

<基本情報>

- 所在地：熊本県八代市
- 労働力：夫婦、外国人技能実習生8名、パート6名

<農場の概要>

- ◇ 栽培面積：1.85 ha (ミニトマト)

<経営の理念(企業宣誓)>

- ①人と自然に優しい農業を行う
- ②社会のために向上心を持って事業に努める
- ③目標でなく、目的をもって作業を行う



<GAPの取得のきっかけ>

- 農場・経営管理のツール
- グローバル化に向けた対応

2010年 JGAP (Basic) 取得
【ミニトマト：全面積】

<GAP認証の取得・更新で苦労したこと>

- ◆ JGAP農場用管理点と適合基準に沿った**ルール作り**に困惑
- ◆ 更新審査では、特に労働安全、人権保護（実習生等）の作業条件遵守等の**原因追及・改善が厳しく求められ苦慮**

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- ◆ **経営の見える化 (PDCAサイクルの徹底)**
 - ・農場、経営を点検することにより**不要(無駄)なもの**が判明 (経営改善、コスト削減)
- ◆ **整理整頓、農作業・点検ルールの徹底**
 - ・整理整頓による**作業効率UP**
 - ・従業員の**意識向上、労働安全に有効**
- ◆ **取引の有利性 (信用・信頼の確保)**
 - ・市場、消費者等に対する**食品安全のアピール**
 - ・**契約出荷、市場での有利販売、取引の拡大**

<今後の経営展開について>

- ◆ GAPに取り組む**新しい仲間作り** (農業経営者となる人材育成)
- ◆ 将来的には**アジア圏をターゲットに輸出**を検討
- ◆ 現在のJGAPからASIAGAP認証取得を検討 (まずは販路の確保を優先、先方の要望に応じて取り組む予定)



👉 **GAPの取組**
(団体認証)

J A 熊本うき生姜専門部会 GAP 研究会

JGAP

しょうが

<基本情報>

所在地：熊本県宇城市

構成員：50名（部会全体は138名）

品目：しょうが、GAP認証品の取扱量：1,600トン（部会全体の約6割）

<経営理念>

農家主体の組織運営で、継続的なGAPの取組みを目指す



<GAPの取得のきっかけ>

取引先からの要請と同時期にうき生姜専門部会に青年部が発足し、役員と青年部を中心に認証取得の機運が高まった

⇒ 平成30年8月 JGAP 団体認証取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆ 部会内の合意形成

- 最終目標は専門部会全体での認証取得としつつも、GAP取得を強制的に強いるのではなく、希望者がGAP認証取得に取り組むこととし、役員や青年部が周囲に働きかけ

◆ 記録作成と整理整頓

- 作業日誌の記録方法等の研修会を開催
- 青年部を中心に26名がJGAP指導員基礎研修を受講。その中から責任者を決め、部会を6班に分けて倉庫の巡回点検を実施



<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

■ 販売価格への反映

- 未取得者よりも販売単価がアップし、GAP認証にかかる経費を相殺。また、出荷規格もより良い条件で販売することが可能になった

■ 整理整頓や生産履歴の記帳でコスト削減

- 作業場が整理され、作業効率がアップ。また、農薬や肥料の在庫管理で無駄な支出が減少した

■ 部会員間の結束強化

- 年輩農業者への助言を青年部を中心に行ったことにより、世代を超えた生産者間の情報交換が活発化し、部会員間の結束が強まった

青年部でみんなを引っ張ってます！

<今後の課題>

- 部会内での内部監査員養成と内部監査の効率化
- 現在は県やJAも一緒に取り組んでいるが、最終的には部会で全て完結できるようにしたい



連絡先：TEL 0964-8383-5303

👉 G A Pの取組 (個別認証)

有限会社土の文化ファーム

GLOBALG.A.P.

ミニトマト

<基本情報>

所在地：熊本県熊本市中央区上通町 農場：熊本県熊本市北区植木町他

構成員：20名

栽培面積：熊本県内約1.5ha（カラフルミニトマト、ナス、ニンジン等）

経営理念：「私達は誰もやったことのない事へ挑戦することにより日本一の農場を目指す」



<G A Pの取得のきっかけ>

・従来から安全性を意識した生産・販売を行っていたが、**食品安全・労働環境・環境保全**について、国際基準を満たしていることを証明する手段とするため。



2018年5月 GLOBALG.A.P. 取得

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆生産履歴等の管理

・ほ場管理等の記帳。

◆労務管理

・パート従業員が理解できる作業マニュアルの作成。
・従業員との**作業の効率化や安全管理等**の意見交換。



◆リスクの把握（食品安全、農作業安全等）

・ほ場等における危険箇所の把握及びリスク対応策の考案

<GAP認証取得による効果>

●肥料や農薬の保管場所の整理整頓・入出庫管理

⇒在庫量や使用頻度の把握。

⇒肥料や農薬の管理徹底により、無駄な購入や期限切れ農薬の廃棄などのムダの削減。

●G A P 品限定の新規販路開拓

●企業の農作業実習や支援学校の現場実習などの外部受入



<今後の展開>

●グローバルG A P 認証圃場の拡大

●南阿蘇農場新設

（夏秋トマトの作付拡大）

●GAP認証品の更なる販路拡大



👉 **GAPの取組**
(個別認証)

(有) 村川商店 / (有) 熊本有機農産

ASIAGAP

人参・たまねぎ・ばれいしょ・南瓜・ほうれん草・キャベツ・白菜・だいこん

<基本情報>

所在地：熊本県熊本市東区戸島町2479

構成員：14名（役員2名＋従業員2名＋実習生10名）

栽培面積：4.5ha（にんじん2ha、たまねぎ0.8ha、ばれいしょ0.3ha、
南瓜0.2ha、ほうれん草0.2ha、（キャベツ、白菜、だいこん）1ha）



【経営理念】

- 安心、安全な新鮮野菜の提供・生産農家の育成・適正利潤の確保。
- お客様との信頼と会社内の人的信頼関係を基礎に、安全な野菜の普及を目的として、この熊本の地より全国に新鮮でおいしい野菜の提供を具体的、実現的に実施していくことを、基本理念とする。

<GAP認証取得のきっかけ>

- 東京2020オリンピック・パラリンピックへの食材提供を狙う。

ASIAGAP認証取得 ⇒ 平成30年2月

<GAP認証取得による効果や改善されたこと>

- GAP認証取得により、取引先からの信用度が格段にアップ。

○生産から出荷までのトレーサビリティが明確になり、国内スーパーに安全・安心なものを出荷できるようになった。

「今後の意向」

- 輸出量を拡大し、国内販売量を縮小。
- JAS認証（無農薬・無化学肥料・安心・安全・美味しいやさいの栽培を目標）を取得予定。



<GAP認証取得で苦労したこと>

- リスク評価に対応した施設整備や整理整頓の徹底
- 作業工程・衛生マニュアルの作成
- 書類作成に苦慮し、結果、事務専門職員を配置。
- 審査時の質問には、即答が求められ冷や汗。
- 全ての作業について記録を行うことなど、従業員によるデータ管理の習慣付け。



問合せ先: TEL 096-380-8663
<https://www.murakawashoten.com>

👉 **GAPの取組**
(個別認証)

農事組合法人 夢農塩

<https://www.yumeaguri.co.jp>

JGAP

米 (粳、玄米)

<基本情報>

所在地：熊本県山鹿市

構成員：5名（2世帯（4名）、パート従業員1名）

栽培面積：5.3ha（水稻）

【経営理念】

「子や孫に安全安心な食べ物を食べさせたい」

農地に還元塩を散布する「還元塩ミネラル農法」で無肥料・無農薬での米栽培



<GAPの取得のきっかけ>

米の消費量が減少するなか、輸出を視野に入れ更なる販路確保のため、還元塩を使用した米栽培のほか有機JAS認証を取得。併せて農場管理のためJGAP認証も取得。

➡ **JGAP認証取得**
2019年2月

<GAP認証取得後の効果>

- 農機具等の整理整頓を行うことで、適切な管理が可能となり、パート従業員へ適切な作業指示ができるようになった。
- 認証を受けたことで、販売会で消費者の目にとまるようになった。

<GAP認証取得で苦労したこと>

◆書類作成等の事務

・今まで農業をする上で特に作成することのなかった多くの書類作成。
⇒コンサルタントの支援を受け対応。

◆危険予測・未然防止策

・生産工程における注意事項について、携わる全ての構成員が理解できるよう作成することに苦労した。

<今後の経営展開>

◆地域の農地をまもる

・地域の高齢化による農業者の減少に対応するため、販売部門の（株）夢アグリとの経営統合の視野に入れ農地を維持。

◆安全な食べ物の供給

・今後も無肥料・無農薬による米栽培と販売

◆新たな販路開拓

・有機JAS認証とGAP認証を活かした主食用米と米加工品（玄米パウダー、米糠パウダー、ぬか醬（醤油））の販路開拓。

